



OSAKA UNIVERSITY
OF ECONOMICS AND LAW
大阪経済法科大学

LIBERA

volume

71

2008

特集

IT活用能力を 身につける





**迫
仁美**
(法学部・2年生)



**楠
宣子**
(法学部・2年生)



**登本
千尋**
(経済学部・2年生)



**西田
太郎**
(経済学部・2年生)

特集

IT活用能力を 身につける



座談会

情報系資格合格者



呉 志賢 准教授
(教養部)

主な担当科目

- 情報システム論
- 情報管理論
- 情報科学演習 など

経済の構造変化により、IT人材の需要が高まる中、専門分野とITの知識を融合し、問題解決の方法やシステムを提案できるような人材を育成することが求められています。

本学では、2007年度より「情報スキルプログラム」を設置し、多くの学生が初級システムアドミニストレータ（初級シスアド）や2009年度より始まる新資格のITパスポートの取得を目指すようになりました。また、同プログラムで学ぶ6科目に加え、指定されたその他の関連科目で必要単位を修得し、初級シスアドまたはITパスポートを取得すると、「情報副専攻」修了の認定を受けることができます。

今回の特集では、「情報スキルプログラム」を実際に受講し、初級シスアドの資格を取得した学生たちに、そこで学んだことや経験したことなどを中心に語ってもらいました。

大阪経済法科大学学報 [リベラ]

LIBERA
volume 71/2008



2008年7月9日発行

【編集】

大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511
大阪府八尾市楽音寺6丁目10番
TEL 072-941-8211
FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp/>

[今月の表紙]

6号館総合情報教育棟で
談笑する学生



CONTENTS

3 特集

IT活用能力を 身につける

座談会

「情報系資格合格者×呉志賢准教授」
本学の情報教育プログラム



8 [スチューデントパワー student power]

課外活動戦績

地域フィールドスタディ「八尾地域巡り」



9 [KEIHO INFORMATION]

2008オープンキャンパスがいよいよスタート!

2008年度 地方父母懇談会を開催

新任教員紹介



10 2008年度 大学予算・事業計画報告

13 阪南キャンパス施設竣工



14 [経法タイムス]

公開講座開講

2008年度第38回入学式

21世紀社会研究所・地域総合研究所を開設

17 [グローバルネットワーク]

2008年度春学期交換留学生紹介／認証式

崇実大学校（姉妹校）訪問プログラム

21 [キャリアアップステーション]

2007年度就職実績・2008年度就職展望

キャリア支援プログラム「キャリア開発」

学内個別会社説明会日程



24 [元気いっぱい! 躍動する経法生]

常 真衣さん (法学部・3年生)



【呉】情報スキルプログラムで提供されている授業や試験対策講座などを受講して、感じたことがあれば教えてください。

【迫】1日4コマあった情報科学演習でのマラソン授業は、ちょっとしんどかったですね。

【楠】私は、その情報科学演習があったから初級シスアド試験に合格できたと思っています。あの演習では、本当にたくさんのかんことをたたき込まれました。

【登本】僕も情報科学演習を受講していたのですが、バイトなどがあって家では勉強らしい勉強をほとんどしていませんでした。あのときは、ちよつと空いた時間を見て、問題集を解いて勉強したりしていました。

【西田】僕は、計算問題を全然やっていなかったのですが、いま思えば午前試験免除対策の集中演習がきつかったですね。

試験に合格することで、自分に自信が持てる

【呉】初級シスアド試験に合格

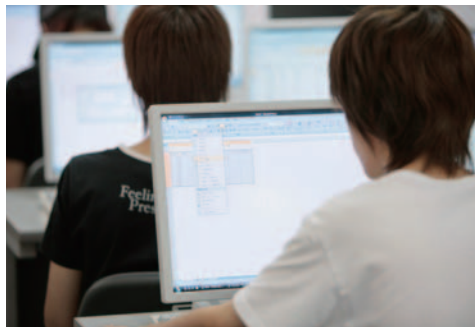
【登本】僕の場合は、大学に入学するまで、ほとんどパソコンについて勉強したことがありませんでした。高校の情報系の授業もパソコンを使うものと使わないもののが、週に1回あるかないかぐらいでしたから。本当に大学に入学するまでは、情報関係の知識が全くなかったため、このプログラムを通じて、自分がどれだけの情報系の知識を習得できるのかということを知りたくて選びました。

【西田】僕は情報系の科目が高校時代から得意だったため、この情報スキルプログラムを選択しました。

段階を踏んで ステップアップ

【呉】それでは次に、皆さんが初級シスアド取得を目指した理由を聞かせてください。

【迫】初めは軽い気持ちで受けてみようと考えていたのですが、C I W 試験（※6頁参照）に合格したのを契機に、本気でワンランク上の初級シスアドの資格取得を目指してみようと思いました。



を目指そうとする学生たちへ、アドバイスをお願いします。

【迫】授業で出された課題は、必ずやっておくことが重要だと思います。それだけでだいぶ違いが出ると思います。まったく自分ひとりで勉強して受けようとしたら、何をしたいのかわからないし、私も個別に問題集を買って勉強してみただけですけど、やはり分からないところもあるので、しっかりと授業に出て、出された課題をやるのが本当に重要だと思います。

【楠】私も、ほとんど同じ意見です。授業にしっかりと出て、復習をしっかりしていれば、自然に知識として身につく、結果が出せると思います。

【登本】情報系の資格試験に限らず、一回失敗したからと諦めずに、もう一回頑張つて挑戦しようという気持ちを持つてほしいと思います。自分のやる気と努力次第で、必ず合格することができると思います。

【西田】僕の場



【楠】私も法科大学院進学を在学中の最終目標にしているのですが、私の性

自信をつけることで、さらにステップアップしようとする意欲がわく

【呉】それでは、最後になりましたが、皆さんの今後の目標を聞かせてください。

【迫】最終目標は、法科大学院合格です。そのために特修講座（Sコース）で、日々勉強に励んでいます。資格関係では、情報系のベースがあるので、ワードやエクセルなどのマイクロソフトの認定資格を取得したいと思っています。

【楠】私も法科大学院進学を在学中の最終目標にしているのですが、私の性



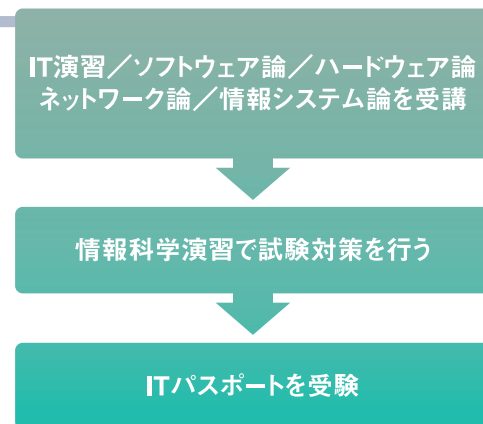
【呉】今日はありがとうございました。短い時間でしたが、在学生の皆さんにとって興味深い話を伺うことができたと思います。これからも、各人の目標達成に向け、充実した学生生活を過ごしてください。

【西田】いまは基本情報技術者試験以外のことは考えていません。一応、簿記とファイナンシャル・プランニングの講義も受講しているのですが、もし機会があれば挑戦したいと思っています。

【呉】今日はありがとうございました。短い時間でしたが、在学生の皆さんにとって興味深い話を伺うことができたと思います。

【楠】私も法科大学院進学を在学中の最終目標にしているのですが、私の性

●情報スキルプログラム



めにITパスポート試験の合格を目指します。ITパスポート合格のために、まず「ソフトウェア論」や「ハードウェア論」などで基礎知識を習得します。その後、習得した基礎知識をもとに「情報科学演習」で応用力を身につけ、ITパスポートの受験に備えます。

情報副専攻

「情報副専攻」は、経済学や法学の専門分野を主専攻とし

●初級シスアド・基本情報技術者受験までの流れ



初級シスアドや基本情報技術者は、比較的難易度の高い国家資格ですが、本学では段階的に資格取得と受験を行うことで、合格の可能性を高めることができます。本学で情報系国家資格取得を目指す学生は、まずインターネットの世界標準資格である「※CIW (Certified Internet Webmaster) Associates」を取得します。「CIW」取得者

「初級シスアド」、 「基本情報技術者」 の取得

は、※構造改革特区認定講座（特区講座）を受講して免除試験に合格することによって、初級シスアドや基本情報技術者の午前試験免除（1年間有効）を受けることができます。試験免除を受けた後に、午後試験に向けた対策講座を受講し、午後試験のみを受験して情報系国家資格合格を目指します。4月20日実施の平成20年度春期情報処理技術者試験（国家試験）では、25名の学生が初級シスアド、1名が基本情報技術者に合格しました。初級シスアドの合格率は、午前試験免除者で75.8%となりました。

経済学部 ITキャリアコース

ながら、情報に関する科目を体系的に学び、高度な能力と知識を身につけ、その学修成果を大学が証明するプログラムです。副専攻履修者は、情報スキルプログラムで学ぶ6科目14単位のコア科目に加え、指定されたその他の関連科目10単位を修得し、初級シスアドまたはITパスポートを取得することで「情報副専攻」の修了が認定されます。

情報分野の知識に加え、経済や経営の知識を習得することで、実務においてITを利活用する力を身につけます。また、ビジネスアプリケーションを用いて、様々な職務を実行したり共同作業を行なうための技術を証明するような資格を取得することで、企業に求められるような人材を育成することを目指します。

ITキャリアコースでは、「経営情報総論」や「情報管理論」、

「ITパスポート」 の取得

初級シスアド対策だけでなく、2009年度より始まる新資格のITパスポートの対策も行うことができます。

ITパスポートは、職業人として備えておくべき、情報技術に関する共通的な基礎知識を習得した者で、担当業務を理解し、その業務における問題の把握および必要な解決を図ったり、上位者の指導のもと、業務の分析やシステム化の支援を行える人材であることを証明する国家資格です。

情報スキル プログラム

情報スキルプログラムでは、社会の一員として、共通に備えておくべき情報技術に関する知識と活用能力を高めるた

「情報処理論」、「eビジネス論」などのコース基本科目で、様々な知識を学びます。そして、専門演習を通してITを活用するための応用力を身につけます。

IT特別 プログラム

IT特別プログラムでは、社会科学系における高度なIT教育を行うことを目的とし、2年次からの専門演習において、3年間Webサイトの運営やeビジネスの実践方法などを学びます。また、専門演習とIT特別演習を軸にIT活用技術を身につけます。

プログラムにおいては、演習専用の教室（ITラボ）を用意して、学生が日常的にサイトを管理できるようにします。Webサイトの運営を通して、地域との連携などを行ない、また、企業へのインターンシップの参加も積極的に行ないます。

ITラボのネットワーク構築



パソコンの組立作業



日本橋電気街で部品調達



Webサイト企画会議



IT特別プログラム
での取組

特集 IT活用能力を身につける

Information Technology

第1回

7月27日(日)

- 特別講演会「高校生に知って欲しい『経済学でシアワセになる方法』」
講師:森永卓郎氏(経済アナリスト)
- Sコース(特修講座)説明会、資格講座ガイダンス
- クラブエキビジョン(公開練習) など



森永卓郎氏

第2回

8月30日(土)・31日(日)

- 指定校推薦入試徹底対策講座
- 法科大学院合格者が語る!ロースクールに合格する秘訣
- ガイダンス「公務員・警察官・消防官への道」 など

第3回

9月21日(日)

- 公募制推薦試験直前対策講座 など

【全開催日共通プログラム(予定)】

- ★基礎素養検査模擬試験
- ★在学生が案内するキャンパスツアー
- ★おもしろ授業体験
- ★Sコース・資格講座Q&A
- ★占いの館
- ★無料キャンパスランチ体験
- ★ケーキセット・かき氷・ドリンクの無料サービス
- 他

◎7月27日(日)は無料直行バス運行

JR新大阪駅・近鉄難波駅・JR高松駅(香川県)
バス乗車は要事前予約
(詳細は本学Webサイトで)

新任教員紹介

- ①蔡 秀卿(さい しゅうけい)
②行政法、公法系演習
③法学部准教授
④名古屋大学大学院法学研究科 博士(法学)
⑤台湾・東呉大学法律学科助理教授



- ①熊谷貞俊(くまがい さだとし)
②情報科学論
③教養部客員教授
④大阪大学大学院基礎工学研究科 工学博士
⑤大阪大学名誉教授



- ①前野育三(まえの いくぞう)
②少年法、刑事学、刑事法の基礎
③法学部客員教授
④京都大学大学院法学研究科
⑤弁護士



※①氏名 ②主な担当科目 ③職名 ④最終学歴 ⑤職歴等

2008年度 地方父母懇談会を開催

日 時	場 所(会場)
6月29日 (日)	東京(東京麻布台セミナーハウス)
	金沢(金沢都ホテル)
	高松(全日空ホテルクレメント高松)
	那覇(沖縄都ホテル)
7月6日 (日)	名古屋(名鉄ニューグランドホテル)
	岡山(ホテルグランヴィア岡山)
	広島(三井ガーデンホテル広島)
	高知(高知パレスホテル本館)
	福岡(博多都ホテル)

今年度も近畿地区以外にお住まいのご父母・保護者の皆さまを対象に、地方父母懇談会が開催されました。各会場では、学生の成績関係・就職関係・学生生活などについて、多くの相談が寄せられました。また、今年度、新たな取り組みとして、10月に京都・神戸・和歌山の3会場で地方父母懇談会を開催する予定です。



団体戦優勝を果たした出場選手



シングルスで優勝した下之段志保選手

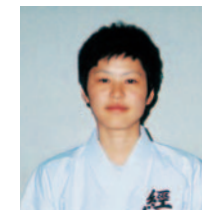
- 【女子】
- 団体戦／優勝
 - シングルス／優勝
下之段志保(経済学部2年生)選手

- 【男子】
- 団体戦／3位
 - シングルス／ベスト8
佐々木健次郎(経済学部2年生)選手

現在、関西学生卓球春季リーグ戦(男女とも1部)でも、上位校相手に互角の戦いを見せるなど、今後の卓球部の活躍がさらに期待される。

5月3日(土)・4日(日)の2日間、松下電器体育館(枚方市)で、平成20年度第50回関西学生卓球新人大大会が開催され、女子卓球部がシングルスと団体戦で優勝を果たし、見事2冠を達成した。

第50回関西学生卓球新人大大会 女子卓球部がシングルスと団体で2冠達成!



梅木香奈選手



大場隆弥選手

- 女子58kg超級／第3位
梅木香奈(法学部2年生)選手

- 男子75kg超級／ベスト8
大場隆弥(法学部3年生)選手
大場隆弥選手は「優秀選手賞」を受賞。

第42回関西学生空手道個人選手権大会 空手道部が好成績を収める

4月29日(火)、兵庫県立総合体育館で開催された第42回関西学生空手道個人選手権大会で、空手道部が強豪大学の選手を相手に互角の戦いを繰り広げ、見事好成績を収めた。

地域フィールドスタディ 「八尾地域巡り」を開講

4月19日(土)、経済学部専門教育科目である地域フィールドスタディ「八尾地域巡り」が、22名の学生・教員の参加のもとで開講された。

この科目は、地域の経済問題や社会問題を学ぶための体験的学習で、中小企業や商店街・環境保全に取り組み市民団体などの取組を見学し、それらを「地域の経済的社会的問題」としてまとめていくことに重点を置いて実施されている。今回「八尾地域巡り」に参加した学生たちからは、「古墳や河内木綿など、八尾の歴史に対する認識を深めることができた」、「農園や中小企業で誇りを持って働いている姿を見て、色々と学ぶことができた」などの感想が多く寄せられ、大学の教室の中では決して学ぶことができない、多くの知識と経験を身につけることができた。

2008年度

大学予算・事業計画報告

2008年度 大学予算・事業計画が 大学会議審議を経て 理事会で決定

2008年度大学予算・事業計画が、2008年2月27日の大学会議の審議を経て、3月24日の理事会で決定され、4月1日より執行が開始されています。

本学では、大学の主な財源である学生生徒等納付金収入を全て、教育研究の充実と大学の発展のため、より有効に活用できる、大学予算制度を導入しています。「2008年度大学予算書」とおり、予算規模は、約67億円で、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出等に充当されています。

経済学部・法学部の特色ある学士課程教育の充実、各種資格試験講座の発展、学生生活支援（奨学金等）、課外活動支援、学生のキャリア開発、国際化・情報化推進、研究の活性化と地域連携の強化等の重要事業に予算の重点的配分を行うとともに、諸経費の削減にも取り組んでいます。

2008年度 大学事業計画の概要

建学の理念に基づく大学の使命に沿って、経済学・法学の専門教育を中核とする、特色ある学士課程教育を充実します。

建学の理念に基づく新しい学士課程のデザインを提示し、各学部におけるコース制を中心とする学士課程教育の全般的かつ



統一的な編成を行ないます。

法学部では、これまでの教育実績を基盤として、法学部コース制の充実・強化に取り組みます。また、第二線で活躍する社会人（弁護士・公務員等）を招聘した特別講義や講演会、参加型・体験型教育プログラム、学生研究発表大会や学生顕彰論文事業等、多様な教育プログラムを実施します。

経済学部では、会計ファイナンスコースとITキャリアコースを新設するとともに、特別プログラム（会計専門職、IT、EREMicro・マクロ）を導入します。また、ビジネスゲームの開発・活用等、参加型・双方向型教育の拡充を図ります。さらに、IT特別プログラムと関連した「ITラボ」を設置します。

それに加えて、国際教養副専攻、情報副専攻を二層充実させる等、特色ある教養教育を推進します。

また、大学教育開発支援センターと法学部、経済学部、教養部が連携して授業改革（FD）を推進します。教育の透明性を高め、教育改革・授業改善における計画・実践・評価・改善のサイクル

を稼働させ、教育力のさらなる向上を目指します。

新入生の大学教育への適応を促進し、学力を向上させる初年次教育を充実します。



学生二人ひとりの4年間にわたる様々な成長を促すための初年次教育プログラムを充実します。演習を中心とする4年間一貫ゼミ・担任制に基づいて、日常的な

学生への個別指導を実施し、教員による個別指導、サブチューターによる日常的な授業出席状況の把握により、学生二人ひとりに対する丁寧な学習指導を行ないます。

経済学部・法学部・教養部とエクステンションセンターが連携して、特修講座（Sコース）・資格講座を発展させ、目標達成を可能とする教育を実現します。

エクステンションセンターと、各学部・教養部との連携によって、経済学検定試験講座・ビジネス会計検定講座の新設等、特修講座・資格講座を充実します。正課授業との融合により、特修講座を発展させ、2年次以降における特定専門科目（講義・演習）の履修を義務づけた、効率的・効果的なプログラムを実施します。また、難関試験や大学院等の合格に向けた学習指導・受験指導を強化し、合格実績の着実な増加を目指します。

専門知識と国際性を同時に育む、国際教養副専攻を中心とする特色ある国際教育を推進します。

ロンドン大学、北京大学など海



外17カ国39大学・研究機関との国際交流の成果を踏まえ、「国際教育プログラム」を推進します。新たな協定校であるカンザス州立エンポリア大学との英語圏交換留学制度を充実させるとともに、マレーシアでの海外フィールドスタディ等のプログラムを追加します。また、八尾市国際交流センターとの地域連携事業、産学連携事業を推進します。

情報副専攻を中心とする情報教育の充実・高度化を図ります。

経済学部ITキャリアコース、経済学部IT特別プログラムの

教育内容を豊富化します。そして、情報教育のための環境を整備し、教室への無線LANの設置等、マルチメディア化を図ります。また、教材作成のための環境及び支援体制を整備します。さらに、出席管理システム、ポータルサイトの改善等大学業務の情報化を推進し、学生サービスを充実します。

正課におけるキャリア教育を強化し、総合的キャリア支援システムをさらに充実させ、希望進路の実現に向けて強力にサポートします。

就職指導部と各学部・教養部が連携し、入学から卒業後の進路まで、学生の希望進路の実現に向けた全学的な支援体制を強化します。学生のコース所属と希望進路のニーズに対する調査把握により、コース別のキャリア教育を充実します。さらに、業界別企業担当者による就職相談、キャリアアカウンセラーによるキャリア相談等を行ないます。

全学的かつ系統的な就職指導体制を確立し、正課授業と就職指導部が実施する就職支援行事の効果的な配置により、学生の就職を力強くサポートします。

教育力のさらなる向上と、快適な学生生活支援のための施設・設備の整備を推進します。



教育力のさらなる向上のため、1・2号館の教室及び、5400号教室の視聴覚機器・音響機器・照明設備の新設更新等を実施し、教育環境の整備を行います。また安全で快適な学生生活を支援するために、体育館の整備や、テニスコート等の屋外照明の増設を行ないます。学生の諸活動がさらに充実するキャンパス空間の創造を進めます。

公開講座 「地域生活と法 —刑事事件と 裁判員制度—」

4月16日(水)、公開講座「地域生活と法—刑事事件と裁判員制度—」が開講され、第1回目は山口健・弁護士(法学部客員教授・元大阪弁護士会副会長・日本弁護士連合会国選弁護対応態勢確立推進本部副部长兼事務局長)による「刑事弁護人の仕事—和歌山カレー毒物混入事件を担当して—」と題したテーマで講義が行われた。



多くの受講生の前で講演する山口弁護士

今回の講義では、和歌山カレー毒物混入事件の弁護活動

について具体的な内容に及び、さらには山口県光市母子殺害事件・鹿児島県志布志市選挙違反事件などにも触れながら、現代の刑事裁判が有する重要な課題が説かれ、2009年5月21日から始まる裁判員制度についても言及されていた。会場となった5100号室では、講義終了後も学生や市民(八尾市・東大阪市)受講生から、裁判員制度について熱心に質問が寄せられていた。

公開講座 「証券論特講 —初めての 資産運用教室—」

4月17日(木)、公開講座「証券論特講—初めての資産運用教室—」がスタートした。

この公開講座は、みずほインベスターズ証券による寄付講座として開講され、初回は調査部で証券アナリストの部隊を率いる熊井泰明部長(コメントーターとしてテレビ番組等に

出演)より、「投資の基本」と題したテーマで行われた。

講義では、世界の富豪ランキングの分析から始まり、富豪になるための手順や株式市場の仕組、金利に関するノウハウなどをIT関連株の株価暴落事例を取り上げながら分かりやすく説明された。

公開講座に参加した学生や事前申込により参加した八尾市・東大阪市民の方は、他では聴くことのできない専門家ならではの講義内容に、熱心に耳を傾けていた。

この公開講座では、今後もエコノミスト、アナリスト、ストラテジスト等の各専門家を招き、多角的な視点で金融業界の最新線のお話をしていたと予定である。

2008年度 第38回入学式を举行

4月3日(木)、2008年度第38回入学式が、本学総合体育館「尚淑館」で挙行された。

式では最初に、経済学部山田健義さん、法学部八田香菜子さんから新入生を代表して宣誓文朗読が行われた後、藤本和貴夫学長による式辞、原正憲八尾市副市長、本学法学部客員教授である山口健一弁護士から新入生にそれぞれ祝辞が述べられた。また、在学生を代表して法学部4年生の白崎祐介さんから「しっかりと目標を持って4年間の大学生活を有意義に過ごしてほしい」と新入生に歓迎のことばが贈られた。

入学式終了後、キャンパスでは在学生による新入生歓迎イベントやクラブ勧誘活動、また、父母・保護者の方を対象にした「新入生父母教育懇談会」が開催され、桜が満開となったキャンパスを華やかな雰囲気包んでいた。



2007年度 第34回卒業式を举行

3月18日(火)、本学総合体育館「尚淑館」で2007年度第34回卒業式が挙行され、多くのご父母、保護者が見守る中、卒業生が新たな門出を迎えた。

式典ではまず、出席者全員で学歌「われらが白き学舎に」が斉唱された後、藤本和貴夫学長から、卒業生を代表して

経済学部井上和城さん、法学部森睦さんにそれぞれ学位記が授与された。続いて、学長式辞、伴井敬司校友会会長から祝辞が述べられた後、学業や課外活動などで顕著な功績をおさめた卒業生に学長賞をはじめとする各賞が授与された(受賞者一覧参照)。

各賞授与の後に行われた卒業生代表挨拶では、北海道大学法科大学院への進学を決めた法学部卒業生・今井武

大さんから「大阪経済法科大学で学んだことを胸に刻み、これから社会の発展のために貢献していきたい」と、今後の期待と抱負が力強く語られ、卒業式は厳肅な雰囲気の中、閉式となった。



防災・防火意識の 向上を目的に 留学生寮で 自衛消防訓練を実施

4月19日(土)、I・S・D布施およびI・S・D花園の留学生寮で、留学生を対象とした自衛消防訓練が実施された。

この取り組みは、万一、留学生寮で火災や非常災害が発生した場合でも、取り乱すことなく迅速に対応できる力を身につけるため毎年実施されている。訓練には、4月に入学した新入生も参加して行われ、訓練用消火器を利用した初期消火活動方法や安全な避難方法などが確認された。

今回の消防訓練は、火災や災害時の初期活動の重要性を改めて認識する機会になった。



■大阪経済法科大学 第34回卒業式各賞受賞者

- 学長賞
井上和城、大友将史[経済学部] / 森 睦、祖一慶子[法学部]
- 経済学部長賞
中野匠久、安 万哲、東 陽介
- 法学部長賞
今井武大、江見樹根、林久美子
- 学長特別賞
公認会計士試験合格 菊川和紘[経済学部]
- 法学部長特別賞
法科大学合格(11名)
沖 義範、中村慶一、萬藤智史、古川千寿華、浪花 毅
大坪宏彰、今井武大、北村誠治、高村 綾、東條美紗子、山口裕人
裁判所事務官Ⅱ種試験合格 森糸 滋
- 経済学会学生顕彰論文
一席 安田嘉雄
「外国語学習のイノベーション」
二席 水山和樹
「現代における連結会計制度のあり方—ライブドア、日興コーディアルの事例を用いて—」
三席 助野沙知子
「非正規化する若者達—正社員にならないのか、なれないのか—」
- 法学会学生顕彰論文
一席 中村慶一
「高齢者福祉について—生活保護法と介護保険制度—」
二席 石原春菜 「非行少年と精神医療」
三席 森山歌織 「『自己破産』—不況下に広がる影—」
佳作 梅村正明、今井武大、浪花、毅、坂井康郎
- スポーツ功労賞
テコンドー部 李 愨晔、丁 保升、姜 仁喆[経済学部]
- 文化活動特別賞
経法祭実行委員会委員長・文化会本部長 前垣 徹[法学部]
- スポーツ敢闘賞
ソフトボール部 田内紀光、西森淳平[経済学部]
- 学生部長賞
鶴谷剛士、藤原彩乃[以上2名、経済学部]
佐藤 歩、樺 重雄、森 睦[以上3名、法学部]

21世紀社会研究所・地域総合研究所を新たに開設 学際的・総合的研究を推進

2008年4月、21世紀社会研究所（所長：高博教養部教授）及び地域総合研究所（所長：沢勲教養部教授）が新たに開設されました。

地球温暖化や平和問題などの諸問題について、学際的研究を展開

21世紀社会において、人類は、世界人口の増加と物質的豊かさの追求の結果、地球規模の環境問題、資源・エネルギー問題などをはじめ、社会、経済、政治の各方面において様々な問題に直面しています。

21世紀社会研究所は、このような現代社会が抱える様々な諸問題について、学際的研究を展開することを目的に設立されました。21世紀社会の諸

歴史、文化、産業、教育、福祉などにおいて学際的・総合的にアプローチするため、共同研究・調査・研究プロジェクトの立ち上

げ、研究成果の公開やシンポジウム等の開催、地域貢献事業の推進など、多彩な研究活動を展開していきます。

問題に関する共同研究・調査・研究プロジェクトを立ち上げるとともに、研究会や公開講座、シンポジウム等を開催し、定期刊行物の発行や国内外研究機関との交流など、活発な研究活動を展開していきます。

大学での教育研究成果を地域社会に提供、

地域が抱える諸問題を解決

教育研究の成果を広く社会に提供し、もって社会の発展に寄与することが求められています。

本学は創立以来、地域を対象にした公開講座、IT講習会、市民無料法律相談の実施など、社会貢献、地域連携の取組を展開してきました。

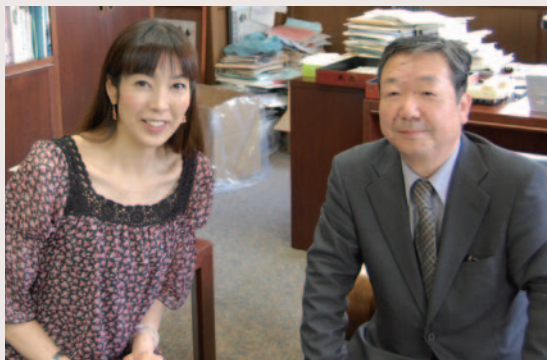
地域総合研究所は、地域の

「第1回バレーボール

大林素子杯 in 八尾CUP」本学で開催

8月31日（日）、本学総合体育館を会場に、八尾市内にある中学校のバレーボールチームを集めて「第1回バレーボール

杯を全面的に応援するとともに、同大会が八尾市を発祥の地として全国に広がることを期待している。



本学を訪れた大林素子さん（写真左）と藤本和貴夫学長（写真右）の記念撮影

グローバルネットワークワーキング

2008年度春学期交換留学生認証式を挙 8名の交換留学生を受け入れ

4月21日（月）、2008年度春学期交換留学生認証式が挙行され、韓国からの交換留学生8名が認証式に出席した。

認証式では、藤本和貴夫学

交換留学生二人ひとりに認証書が授与された。その後、李恵珍さん（崇実大学校）、安恩瑩さん（慶尚大学校）から交換留学生を代表して挨拶が行われ、留学期間中の目標と決意が力強く述べられた。

式の最後は、高博国際交流委員会委員長から「日本の学生や様々な国の学生と相互理解を深め、ひとつでも多くのことを学んでほしい」と、交換留学生に激励の言葉が贈られた。

学長から認証書を授与される交換留学生



2008年度

春学期交換留学生紹介

留学期間：2008年3月～2008年8月（6ヶ月）



金 孝真
（キム・ヒョジン）

韓国・崇実大学校
人文大学日本学科



曹 慧林
（チョウ・ヘリム）

韓国・崇実大学校
人文大学日本学科



趙 恵珍
（チョ・ヘジン）

韓国・崇実大学校
人文大学日本学科



李 恵珍
（イ・ヘジン）

韓国・崇実大学校
人文大学日本学科



李 珍珠
（イ・ジンジュ）

韓国・崇実大学校
人文大学日本学科



李 鉉武
（イ・ヒョンム）

韓国・崇実大学校
社会科学大学行政学科



尹 オンピヌリ
（ユン・オンピヌリ）

韓国・崇実大学校
経商大学国際通商学科

留学期間：
2008年3月～2009年2月（12ヶ月）



安 恩瑩
（アン・ウニョン）

韓国・慶尚大学校
師範大学日本語教科

2008年度第1回異文化交流行事
新入留学生歓迎、生活応援キャンプを開催

4月19日(土)・20日(日)の2日間、毎年恒例となっている新入留学生生活応援キャンプが、今春竣工したばかりの阪南キャンパス(大阪府阪南市箱作)で開催され、新入留学生27名を含む総勢80名の学生たちが参加した。今回の行事は、新入留学生の歓迎とともに大学生活全般を見据えた生活応援とオリエンテーションを兼ねた行事として実施された。

二日目は、大学生生活オリエンテーションが管理棟で開催された。学生課、就職課の担当職員から、留学生が日本で学生生活を送る上での心得、注意すべき点などについてガイダンスが行われた。その後、本学を卒業して就職したり、大学院に進学した卒業留学生から、自身の大学生活での経験や就職・進学経験談などが語られた。新入留学生は、先輩留学生の貴重なアドバイ

スに熱心に聞き入っていた。午後からは、グラウンドでサッカーやソフトボールの試合が行われ、参加した留学生と一般学生の交流が図られ、新入留学生にとっては、本学での充実したキャンパスライフのための2日間となった。



楽しそうな表情で潮干狩りをする留学生たち

二日目は、新入留学生の相互交流と共同の作業を通じてチームワーク作りのために体験型プログラムを行った。具体的には、阪南キャンパス近くにある淡輪海水浴場での潮干狩り体験を行い、その後、阪南キャンパスに戻り、バーベキューを学生たちがグループに分かれて、きばきと準備し、積

国際教育プログラム「海外協定校に行こう」
姉妹校である韓国・崇実大学校を訪問

3月27日(木)・31日(月)までの5日間、国際教育プログラムの二環として、姉妹校である韓国 崇実大学校への訪問プログラムが実施された。この訪問プログラムは、姉妹校の中でも学生間交流が最も盛んに行われている大学のひとつである崇実

参加者は、主に韓国語の講義を履修している学生たちで、姉妹校である崇実大学校訪問や授業体験、フィールドワークなどを通じて、直接異文化を体験・理解する絶好の機会となった。



2007年度留学生卒業祝賀会
26名の留学生が新たな旅立ちへ

3月18日(火)、2007年度第34回卒業式終了後、新しく移転した1号館の国際部交流室内で留学生卒業祝賀会が開催された。

数日前から留学生の卒業を一緒に祝いたいという一般学生と留学生の後輩たちが、会場を飾りつけ、アットホームな雰囲気の中での祝賀会となった。

祝賀会には、日本の晴れ着を身にまとった留学生も参加し、会場を一層晴れやかで和やかなムードに包んでいた。

今年は国公立大学をはじめ大学院へ進学する卒業生も多く、会場では後輩たちから進学に関する相談を受け



国際教育プログラム派遣スケジュール

	プログラム名	派遣時期	期間
STAGE1	海外語学研修(夏季)*6カ国コース	8月～9月	1ヶ月
	海外語学研修(春季)*6カ国コース	2009年2月～3月	1ヶ月
	日中韓3カ国姉妹校学生交流セミナー	8月下旬	2週間
	海外フィールドスタディ(中国)	9月中旬	10日間
	海外フィールドスタディ(韓国)	2009年3月初旬	10日間
STAGE2 LSP 留学プログラム	(英語圏)カナダ・トロント大学 オーストラリア・グリフィス大学	8月中旬～12月下旬	4ヶ月
	(中国)北京大学、復旦大学、 中央民族大学、遼寧大学	8月下旬～2009年1月中旬	5ヶ月
	(韓国)崇実大学校	8月下旬～12月下旬	4ヶ月
STAGE3	ASP(英国・ロンドン大学)	7月末～12月下旬	5ヶ月
	ESP交換留学(各国の姉妹校へ)	8月下旬～2009年8月中旬	1年
	海外インターンシップ(中国・香港・韓国・タイ)	9月初旬	2週間
その他	海外姉妹校大学訪問プログラム	未定	5日間

※詳細なスケジュール等については、国際部(1号館1階)にお問い合わせください。



学内合同会社説明会



平成19年度版の「労働経済白書」若年者の雇用状況」では、景気の回復により「新規学卒者の就職率は改善基調で推移している」と述べており、文部科学省の学校基本調査によれば2006年度の大学卒の就職率（分母は就職希望者）は95.3%となっています（2007年度の速報値は8月中旬に発表予定）。一方、懸念材料としては、入社3年以内の離職率が高卒で49.2%、大卒では35.7%（と

2007年度

就職実績と

2008年度

就職展望

もに2003年の就職者）と引き続き高い水準にあること。また、若年者の非正規雇用（派遣・契約・嘱託等）が増加傾向にあることが指摘されています。

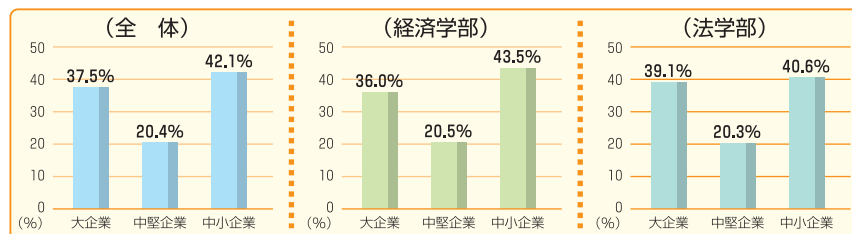
大学生（2007年度卒業生）一般の求人倍率は、前年度の1.06倍（リクルート調査）から1.89倍へと上昇。特に中小企業の求人が伸びており、団塊世代の退職、景気の回復などが追い風となり、本学においても就職率は1993年当時まで回復しています。さらに2008年度の求人倍率（2009年3月卒対象）は、同じリクルート調査によれば、2.14倍と予想されており、引き続き売り手市場が続いている状況です。しかし、原油高や原材料のコストアップによる収益悪化懸念が各業界に広がっており、2010年以降の雇用環境については黄信号が点灯しています。

また公務員志向については、定員の削減や民間企業の活発な採用を反映して、全体として受験者は減少傾向にあります。本学では、法学部を中心に引き続き公務員志望者が多いことから、2次試験（面接等）突破が当面の課題となっています。特に警察官においては、結果的に体育会系クラブ出身者が多く合格していることから、組織における順応性を示すとともに元気で正義感溢れる態度を発揮することが必要となっています。

データで見る2007年度 卒業生進路・就職状況のまとめ (5月1日現在)

Part 1

●企業規模別就職状況



注) 企業規模は資本金額を、大企業は10億円以上、中堅企業は1億円以上10億円未満、中小企業は1千万円以上1億円未満

●就職希望者に占める就職率

全 体		97.9%
経済学部	男子	97.6%
	女子	96.2%
法学部	男子	98.0%
	女子	100.0%

GLOBAL NETWORKING

2007年度第5回異文化交流行事
九州名所・名景めぐりの旅

2月17日（日）から3泊4日の行程で、九州名所・名景めぐりの旅と題した2007年度第5回異文化交流行事が開催された。今回の異文化交流行事は、日本の自然の素晴らしさと歴史文化財探訪を目的に、また3月で卒業する留学生たちの卒業旅行も兼ねて実施された。

九州は大阪より暖かいと思



い込んでいた総勢30名の参加者たちは、まず始めに到着した小倉で雪に迎えられ、寒さに震えながら門司港で関門海峡を望んだ。その後バスでの見学ツアーを行った参加者は、太宰府天満宮、長崎ラントン祭、熊本城、阿蘇山、霧島温泉郷、高千穂峡など、日本の自然の素晴らしさと歴史文化を満喫することができた。

また、4日間という限られた時間の中で、参加した学生たちは互いの交流を深めることができた。

普段大学での勉強とアルバイトに追われ、多忙な学生生活を送っている学生たちにとって、今回の九州名所・名景めぐりの旅は、観光以上に友人たちとの楽しい思い出づくりや日本の歴史文化を直接肌で感じるよい機会となった。

九・州・周・遊・探・訪・記

邱 樺興さん(2008年3月/経済学部卒業)

卒業旅行だ。出発当日、朝5時半の国際部のモーニングコールで起こされた。すぐ眠いけど、今日は旅行だと思ったらすぐに目が覚めた。みんな予定どおりに集合し、いざ出発。

午前9時半、新幹線は小倉駅に到着した。現地での移動はバス。福岡県・長崎県・熊本県・鹿児島県・宮崎県と、すべてバスでの移動というハードなスケジュールだ。四日間、九州の名所名物を満喫した。温泉も交流食事会もとても楽しかった。学生最後の思い出だ、と思いがたらくさん写真を撮ったり、大騒ぎしたり、友人たちと忘れられないひとときを過ごした。普段あまり喋らない人にも話しかけてみた。

楽しい時間は経つのが早い。気づかないうちに帰りの新幹線の中にいた。旅行中、ずっと時間が経つのを恐れながら楽しんできた……。もう学生ではなくなるんだなあ、今年から社会人としてがんばろう！窓の外の景色を見ながら嘆く。なじみの「新大阪」の駅看板が目に入ってきた。



新幹線の車内で記念撮影する邱 樺興さん(写真中央)



キャリア支援プログラム「キャリア開発」を通じて

学生就職指導部長補佐 森下 泰行(教養部准教授)



この「キャリア開発」の講義では、将来必ず必要となる多くのこと(自己分析・自己紹介・コミュニケーション能力・エントリーシート・自己PR・面接・スキルなど)を学ぶこととなります。また、学生たちは、この講義を通じて進路について考え、意欲を高め、自らを見つめ直し、自身の性格や職業適性などについても知るようになります。大半の学生は、「自己分析」と言う言葉そのもの、あるいは自己紹介(⇔他己紹介)の方法について戸惑いを感じています。そこで、この「キャリア開発」では、学生自身がやりたいことを見つけ、そのために何が必要であるかを認識し、「自己分析」の端緒を学び、基本的な受講態度(マナーなど)を身につけることを目的としています。

また、企業ニーズとして求められているコミュニケーション能力についても、相手の話をしっかり聞き、相手が話しやすい状況にすることが大切であることを認識したうえで、「相手の話にすれない話し方をする」、「お互いが理解できる会話になる」など、例を挙げながらわかりやすく説明しています。

例えば、コミュニケーションの一つの形態である面接についても「入室を待つ間に服装の乱れなどを確かめ、面接官の合図でドアをノックし入室する。入室の時は、はっきりした声で挨拶をし、背筋を伸ばし、氏名・大学名

をハキハキと答える。着席の指示後、よろしく願いますと言ってから座る。面接官の話をしっかりと聞き、聞き返されないように、ゆっくりはっきりと話す。終了後、退室の指示があれば、ありがとうございましたと言って一礼し退室する。」など、実例を交えながら挨拶の大切さやマナーの基本などを学び、将来の就職活動に備えることのできる学生の育成を行っています。

現在、私は「大学コンソーシアム大阪^{*}」においてインターンシップ推進委員(コーディネーター)を担当していますが、そこで他大学の学生も含め様々な経験という「知識」を吸収することで、見違えるように成長していく多くの学生と接してきました。この「キャリア開発」の講義では、そのようなたくさんの経験を踏まえたうえで、ひとりでも多くの学生の目標を実現できるよう、一つでも多くのことを学生たちに提供していきたいと思っています。

^{*}大学コンソーシアム大阪

大学の本部を大阪府内に設置する4年制大学(45大学)の大学間の相互協力や情報交換、大阪経済会との交流、大阪府内の高校との交流、海外の大学・研究機関との交流などを目的として設立された特定非営利活動法人。

「企業人事担当者からのメッセージ」
『就職とは職に就くこと、自分の将来への期待、夢へのチャレンジととらえてもらいたいと考えます。また、一人ひとりが違う個性の中、会社も異なった「社風・業界・戦略・人材」を求めているというところを知ってほしいと思います。就職活動を通して、自分を発見する喜び、

学習支援センター及び就職課においてキャリアカウンセラー、コンサルタント、企業人事担当者などによる就職相談を実施しています。4年生には、就職活動上の悩みを聞くとともに、個別求人企業を紹介しています。また、3年生以下には、将来の就職に向けての相談や準備すべき事柄などをアドバイスしています。皆さんの積極的な利用をお待ちしています。

個人相談・キャリア就職相談の強化

合同説明会については、2月から5月にかけて約300社を招き既に実施しており、400名近い学生が参加しました。6月以降は、個別企業(1日2~5社程度)を招いてミニ会社説明会(選考試験を実施する企業も含む)を開催しています。

「学内合同企業説明会及び個別企業説明会」開催

自分の人生を生きている喜びを体験することは、長い人生の中で大きな意味があります。私たち相談員は、お会いする学生さんに「働くことは楽しい」ということをお伝えしたいと考えています。相談員は、とてもアットホームなメンバーですので、どのような相談でも気軽にお願いください。」

「就職ガイダンス・キャリア支援プログラム」を実施

就職活動の早期化に対応し、6月から来年の2月まで、進路・就職ガイダンスと各種セミナーを開催します。主に3年生を対象としますが、他の学年の皆さんも自由に参加できます。自身のキャリアアップに向け、是非参加してください。

SPI試験対策 自己分析講座 業界・業種研究対策 履歴書・エントリーシート対策 講座 模擬面接(集団・GD・個人対策) 特別講座 就活直前講座 等々

2008年度の進路・就職活動支援行事について

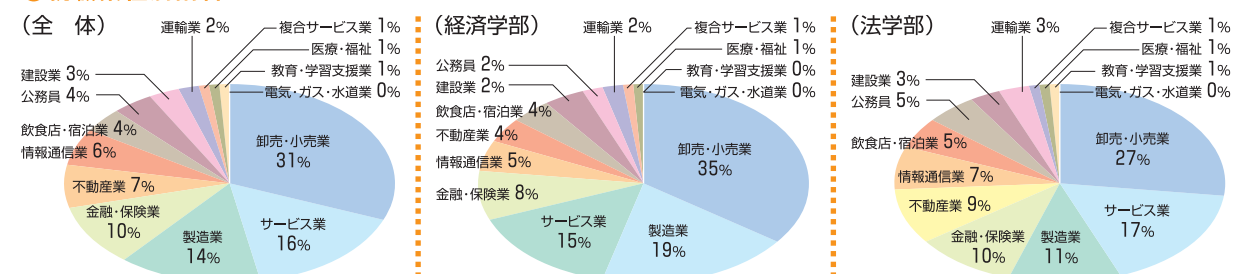
本年度も採用活動の早期化が加速され、すでに内定を得ている学生もかなりいるとの報告が寄せられており、就職戦線は事実上中盤を迎えています。就職課では、4年生の進路・就職の決定について、今後も全力を挙げてサポートしていきます。

■学内個別会社説明会日程(7月分)

開催日	企業名	業種・事業内容
7月 1日(火)	(株)大倉	大規模住宅開発、新築一戸建の設計・施工・販売、新築分譲マンションの企画・開発・設計・販売、会員ホテル業
7月 2日(水)	シグマ薬品(株)	ドラッグストア・調剤薬局の運営
7月 3日(木)	(株)ダイサン	鋼材卸売業
7月 4日(金)	トーハツ(株)〈東京発動機〉	船外機(小型漁船及びレジャー用)・舟艇・可搬消防ポンプ・小型全自動消防車等の製造販売
7月 7日(月)	サンゲン(株)	FA自動制御機器・環境改善機器テクノ商社
7月11日(金)	(株)近畿しんきんカード	クレジットカードに関する業務

データで見る2007年度 卒業生進路・就職状況のまとめ (5月1日現在) Part 2

●就職業種別割合



元気いっぱい！
躍動する
経法生

常 真衣さん
法学部・3年生

充実した学生生活を過ごせるよう、 たくさんのことに チャレンジしようと思います。

本学では今年度から、初年次教育の一環として、
大学演習のすべてのクラスに
学生メンター（先輩学生が新入生に対して
学習支援などを行う制度）が配置されました。
今回は、学生メンターとして、
また課外活動や将来の目標に向かって
頑張っている在学学生を紹介します。



新入生と一緒に自分の成長を実感

今回、先生からの推薦で学生メンターをすることになったのですが、学生メンターをして一番感じたことは、新入生への学習支援や学生生活の相談を通して、私自身が新入生からたくさんのことを学ぶことができたということです。

大学生生活の半分か過ぎ、色々なものを目にしたり聞いたりして、大学に入学した時のワクワクする気持ちだと多くのものを忘れていたように思います。そんな入学時の気持ちを学生メンターをすることによって気付くことができ、同時に新入生から多くの刺激を受け、勉強にも今まで以上に精を出して取り組めるようになりました。

これからも互いに刺激しあいながら、ともに成長していければと思っています。

課外活動での思い出は一生の宝物

私は現在、オールラウンドサークルの代表をしています。



サークル仲間と集合写真

このサークルは2007年に、学生生活の中で何か1つ、誰にも負けないものをみつけよう!という思いから、私が立ち上げたサークルです。

現在、約30名の部員と

一緒に活動しており、主に野球やサッカーなどの試合をしています。サークルを立ち上げた当初は、多くの人数をまとめるという事の難しさに戸惑いや不安を感じていましたが、今となつてはそこで得た経験が私にとってとても貴重な財産になっています。

貿易という仕事を通して世界平和に貢献したい

卒業後は、商社又はJICA（国際協力事業団）、NGO機関など、貿易に関する仕事に就きたいと考えています。そのために現在、貿易実務検定A級の資格取得を目指して、



大学演習で新入生をサポート

日々勉強に取り組んでいます。大学での講義も、資格取得に関連した国際法系のゼミやフェアトレード（公正貿易）など、貿易と密に関わる国際法の講義を中心に履修しています。

将来は、貿易という仕事を通して、世界中の貧しい人々の命をひとりでも多く救いたいと考えています。そのためにも大学でたくさんの留学生や友人、演習のクラスメイトなど、多くの人と接し、多くの意見を聞き、自分の将来の糧にしていきたいと考えています。

編集 後記

5月に発生したミャンマーでのサイクロンと中国四川省を襲った大地震から、早2ヶ月が経とうとしています。本学にもミャンマー、中国からの留学生が在籍しており、今回、彼らの故国の復興を目的に救援金募金が行われました。

多くの学生・教職員の協力により、総額で213,497円の救援金が集まりました。この救援金は、日本赤十字社と駐大阪中国総領事館を通じて、被災者の救援に役立てられます。